

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 6月 20日

事業所名 つくしんぼ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			人員を見ながら部屋の移動を行い多すぎる人数にならないようにしている。	
	②	職員の配置数は適切である	10			全体的に厚めの人数になるようにしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	2		できる限り段差などリスクを無くしている。不十分な部分にはスタッフがサポートをしている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1		打ち合わせと反省会にて確認している。必要に応じて改善を行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			保護者とのコミュニケーションや個別の時間を作り、意向を把握し全体で確認を行っている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	3		事業所内閲覧ファイルとホームページ上に掲載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2	1	理事会にて業務報告や話し合いをしている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			内部学習会を開催したり、外部研修の情報伝え希望者を推薦している。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			保護者と話し合いをしながら対応している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2		視覚的にわかるようにしたり約束事を決め確認し、全体で分かるようにしている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			全体で共有している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2		日々活動を振り返り、新しいアイデアを取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		日々活動を見直し、成長段階にも応じてきめ細やかに設定している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		状況に応じた対応を行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	10			支援開始前にスタッフで集まり役割分担を確認し共有している。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			支援の内容の確認や、利用者の様子を話し合い共有している。		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			毎日記録を取り、全員で確認し共有している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	10			行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	8	2		行っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	10			最もふさわしい者が 参画している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	10			月次予定、週間予 定を把握し、連絡体 制をとっている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	6	4		医ケア児は現在はい ない。 身体的ケアの必要な 利用者に対しては行 っている。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8	2		必要に応じて行っ ている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	10			必要な際は常に 出せるようにしてい る。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	10			研修を受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	5	2	コロナ禍では難しか った。	社会情勢を見なが ら、家族参加行 事(兄弟児との交 流など)を復活さ せていきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加している	5	4	1	必要に応じて準備 している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	10			日頃より保護者と話 す時間を設け共通理 解につなげている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	6	3	1	日頃から保護者に、 伝え方や特性への理 解など、提案やアド バイスをしている。	
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	10			契約時やその他の場 面でも随時説明や質 問に対応している。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1		相談事に対し助言や 支援を行っている。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	6	3	1	コロナ禍では難しか った。	社会情勢を見なが ら、親子参加 行事や保護者会 などを復活させ ていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			連絡があった際にその場で対応したり、確認して連絡している。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	1	年間行事予定表、連絡帳、メール、文書にて発信している。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	10			不要になった書類はシュレッダーにかけ、扱いには十分注意している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			話を聞いたり状態に合わせ、それぞれに適した方法を配慮している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6	1	コロナ流行前は行事に地域住民を招待していた。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			閲覧できるようにしている。 避難訓練を行っている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2		行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			定期的に研修会を行っている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			委員会を開催し、内部研修会を行っている。重要事項説明書や計画書に記載し説明をしている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3		事前に聞いている。	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		事例集は常に確認でき共有している。		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。